

来信

治真井 さんより

畑の方も大きく完備しましたし、大根などの播種も一応終え、きのう十六日に山へ行つてみたのですが大根はもとより、カボチャ、コカブ、レタス、ジャガイモなど、いづれも発芽してしまいました。イノシシも今のところ侵入できないで、農作物は無事育つていました。

才一回才二回の援農も終つて、才三回目の援農も七月八月に計画して下さつておられるようですが、ここらでもつと具体的な問題（E.V. 形態、財政面、連合のしかたなど）について、お互いの向で、つっこんだ話もしていききたいと思うのですがいかがでしょうか？

それから一回目も二回目も共に、ぼくの方からのみ作業などを提起しそれを応援してもらつたので、すが、やはり、そちら側からも、作付品目や、仕事のやり方などについて、どんだん注文してもらつた方がもつと面白いのではないかと思ひます。といますのか、尾関さんの変わられてきた共同体——とりわけ現実に社会変革にアタックし得る共同体を單なる理念でなく実際のこの社会の中に築いてゆくためには、いわゆる援農だけでは、とうていダメなのではないかと思ひます。

もちろん援農してくださるのには、こちらにとつてはありがたいのですが、その援農を通して、各人一人一人が自分自身の活動を深化させ、状況に向つてステップする契機としていかなければ、單なる自己満足に終つてしまふような氣がしてなりません。ぼくは何も、あの備備開拓に、常住して共同体をいつしよによつてゆく仲間を今の段階で捜そうとは思つてもいません。むしろあそこをいつしよにやりたいという人があれば、その人には他の場所を開拓してもらいたいのです。そして一つでも二つでも多くのそうした場所をONE BOY ONE PART方式でつ

くつて各人の独自性をきそいあいたいと考へています。その上で（一人一人が、本当に自分の足でやりはじめ）はじめてその責任する地を結んで、労働提供農作物などの交換、等の連合体を築けないものでしょうか。

従つて、よく尾関さんがなされる機能分担も、そうした多くのいろいろなことのできる人たちが、あるいはいろいろな生産ができてこそはじめて共同体において実現できるのではないかと考へています。

たとえば、こんどの「コミニオン往來」64にしようの紙面に備北開拓た一つのことしかのつてないということはやはりおかしいと思ひました。つまり関西キブツ読者会の一つの共同体づくりとして、もし備北開拓オンリーしかないと思へば、やはり、あの開拓で、農作物生産にしばつて考へれば、分担どころか過剰の期待（？）がかかつてくるのではないかと思ひます。

先日の夜のミーティングのとき、少しふれたのですが、才三の農場の件、ぼくの方であたる範囲で二、三思いつく場所があつたので土

おしらせ

第三次備北開拓へ

七月、八月、約二ヶ月間滞在期間は任意です
あなたの都合のよい期間をお知らせ下さい。一日だけでも帰られても何日でもかまいません。食費、作業衣、持つてる人は震袋、連絡先、大改市旭区大宮や二郵便局留。尾関弘マデ

地をなんとかできないものか物色してみました。その結果、一ヶ所はやる氣が（労働的、財政的に）あれば土地の方は都合がつくことになりました。場所的に（交通の便）は岡山市から郊外へ四五kmくらいの（バイクで五〇分）海拔四〇〇mくらいの高原です。できれば来年の春から土地を借してもらつて開墾をはじめようかとも思つて、そのように話をしていきます。規模は、山林五ha、畑一ha、労働的に人数が確保できれば、山林一〇くニ五ha、田畑三〇五haも話をすればなんとか借してもらえそうです。

ただ山の難点は、少し傾斜があるのと、石ころが点在していること。もしここを開墾できれば、乳牛か、肉牛、鶏などの飼養も可能ですし、野菜米も作れます。今のところ考へてみると話してありますので、返事は今年中くらいでいいと思ひます。夏にでも詳しく話し合つたり現地見学したりしてもよいと考へています。実はこの土地の持主と知合だったので、もしここでやるのなら、嫁さんも用意しているからと手廻しのよいこと……。

月刊キブツ関西読者会
の毎月第四日旺午右一時
の守口市民会館
の議題（六月二〇日）
共同体における経済
について。



毎月才三日旺日

次回六月二〇日午後一時
旭区木林小路町四七昌美荘
秋岡さんの部屋
テキスト「ヴォルヘルム・ライヒ
性」文化の革命
現代思潮社。九〇〇円
勁草書店。六〇〇円
参考マデ
「情況」増刊号、ライヒ特集

現代のアナキズム運動

尾関弘著 三一新書 350円